学校番号	３０２６

令和８年度　グローバル探究科

教科	(学)グローバル探究科	科目	(学) IB 数学 SL	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	-						
副教材等	Mathematics: Core Topics SL （Haese Mathematics 出版） Mathematics: Analysis and Approaches SL（Haese Mathematics 出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

IB Math SL は 2 年間のコースです。このシラバスは、このコースの 2 年目のためのものです。このコースでは、さまざまな数学のトピックに関する知識とスキルを身につけることに加え、問題解決、数学的コミュニケーション、異なるトピック間のつながり、テクノロジーの適切な使用にも重点を置いています。数学 SL の生徒は、パターン認識、抽象化、証明に関連するスキルも身につけることが期待されています。

2　学習の到達目標

1. 数学への好奇心と楽しみを持ち、その優雅さと力強さを理解する。
2. 数学の概念、原理、性質の理解を深める。
3. 様々な場面で、明確に、簡潔に、自信を持って数学を伝えることができる。
4. 論理的かつ創造的な思考と、問題解決のための忍耐と粘り強さを身につける。
5. テクノロジーと数学の発展がお互いにどのような影響を与えるかを理解する。
6. 数学者の仕事や数学の応用から生じる道徳的、社会的、倫理的な問題を理解する。
7. 数学の普遍性とその多文化的、国際的、歴史的な視点を理解する。
8. 他の分野への数学の貢献を理解する
9. 自身の仕事と他者の仕事を振り返る能力を養う

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

学習のまとまりごとに、学習内容に応じて、小論文、IB 試験過去問に基づく課題、テスト・小テストを評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	① ② ③ ④ ⑤	①　レポート（研究プロジェクト）、 ②　微分（曲線の性質、最適化） ③積分学、続き：曲線下面積、回転体積、運動学 ④　相関 ⑤　離散確率変数と連続確率変数	- シラバスの知識と理解を証明する。 - 身近な問題、知らない問題を解決する - パターンや構造を認識する - 認められた記号や表記法を用いて数学を伝えることができる - テクノロジーを適切かつ効果的に使用する。	Paper 1 対策 小論文、IB 試験過去問に基づく課題、テスト Paper 2 対策 小テスト、IB 試験過去問に基づく課題、テスト
2	⑥ ⑦	⑥　コース最終試験対策演習 ⑦　IB コース最終試験		
3	⑧	⑧演習:コースで学習するトピックの知識と理解を深める。(確率と統計的な推測（中心極限定理、信頼区間）)		レポートと小テスト